

※エジプトに連れてこられたヨセフ

主なる神様からエジプトに売られていったヨセフへの直接の語りかけの言葉は聖書には記されていない。しかし、繰り返し「主が彼（ヨセフ）とともにおられた」ことを記している。ヨセフは王の家来のポティファルの家で仕えるが、騙されて監獄に入れられてしまう。しかし、その監獄で、ヨセフは監獄の管理を任されるようになる。

※王様の夢を説き明かす

誰も説き明かすことができなかつた王の夢であったが、2年前に監獄でヨセフに夢を説き明かしてもらった献酌官長が、ヨセフのことを思い出し、ヨセフは王の前に連れて来られた。王はヨセフに夢の意味を説き明かしてくれるように頼むが、「私ではありません。神が知らせてくださるのです。」と、この力が主によるものであることをはっきりと証しする。そして、夢の意味は、7年の豊作の後、7年の飢饉がくることであることを告げ、豊作の間に作物を蓄えるように伝える。王は、「**神の霊が宿っているこのような人が、ほかに見つかるだろうか**」とヨセフのすばらしさと共に、ヨセフと共におられる主のわざを見るのであった。王は、ヨセフにエジプトの国を治めることを任せるようになった。エジプトは飢饉が来ても穀物に困らなかつた。

※主が共におられる

私たちも、いろいろなところで、困ったことがおこったり、孤独を感じることもあるかもしれない。神様を信じていれば、何もつらいことや悲しいことがおこらないというわけではない。残念ながら、神様を信じていてもつらいことや悲しいことはおこる。でも、神様を信じていると、神様が共にいてくださるということがわかるようになる。そして、神様から力をいただくのである。

※神様が知らせてくださる

ヨセフと同じ力はないかもしれないが、神様が私たちを用いて、いろいろなことを教えてくださるといことはあるだろう。神様は神様のご計画の中で、私たちをいろいろなことに用いられる。それは、私たちにとって、うれしいこともあれば、「え、どうして、こんなことがおこるの?」「神様どうしてですか?」という悲しいこと、つらいこともある。でも、必要な時が来たら、神様の計画のうちにあるその意味を知らせてくださると信じて歩みたい。子どもたちを、また、私たちを神様のご計画の中で、豊かに用いてくださいと祈る者とされたい。